

# 4 スポーツへの態度

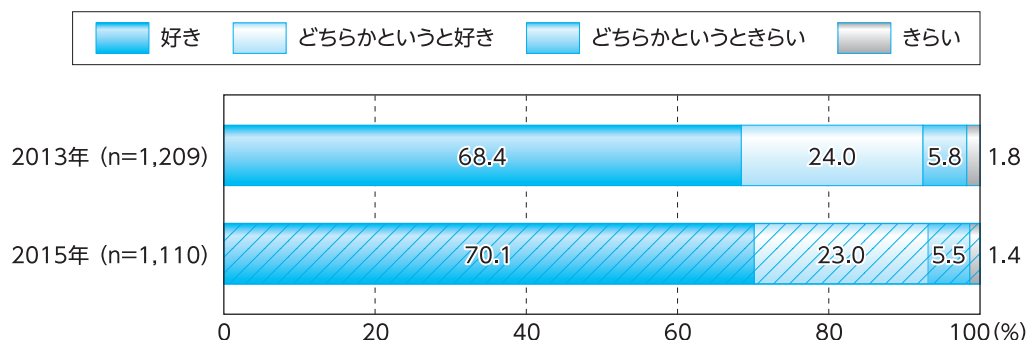
## 4-1 運動・スポーツの好き嫌い

「あなたは、運動やスポーツ、運動あそびをするのは好きですか」とたずねたところ、全体では「好き」70.1%、「どちらかという好き」23.0%、「どちらかというときらい」5.5%、「きらい」が1.4%であった（図4-1）。

過去の調査と比較すると、2013年調査では「好き」68.4%、「どちらかという好き」24.0%、「どちらかというときらい」5.8%、「きらい」1.8%であり、今回の調査では「好き」と回答した者が1.7ポイント増加した。「好き」と「どちらかという好き」の割合を合わせると2013年

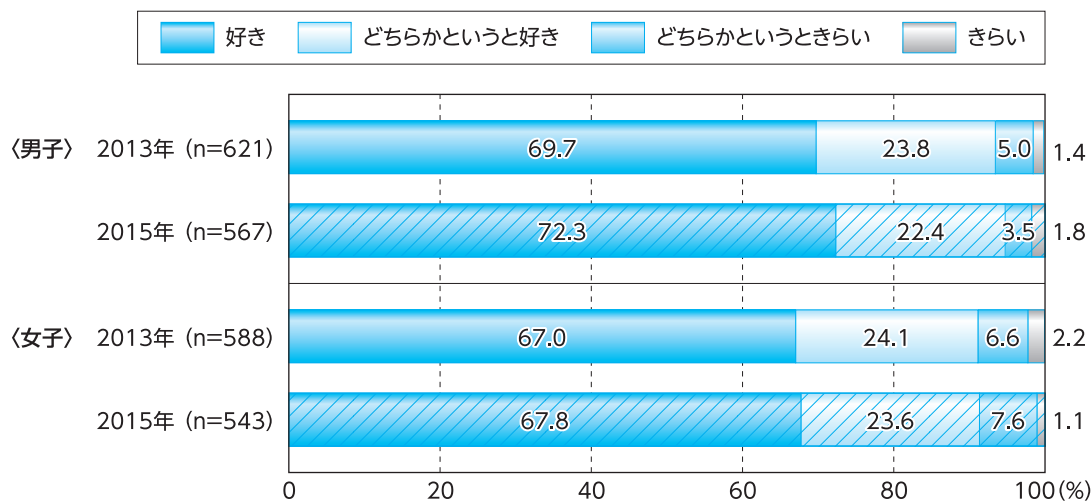
調査が92.4%、今回の調査が93.1%であり、いずれも回答者の9割が運動やスポーツ、運動あそびが好きと回答した。

性別にみると「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合は、男子では94.7%、女子では91.4%であり、2013年調査と同様に、男女ともにほとんどの者が運動やスポーツ、運動あそびが好きと回答した（図4-2）。特に、男子では2013年調査と比較して「好き」と回答した者の割合が2.6ポイント増加している。



【図4-1】 運動・スポーツの好き嫌いの年次推移

資料：笹川スポーツ財団「4～9歳のスポーツライフに関する調査」2015



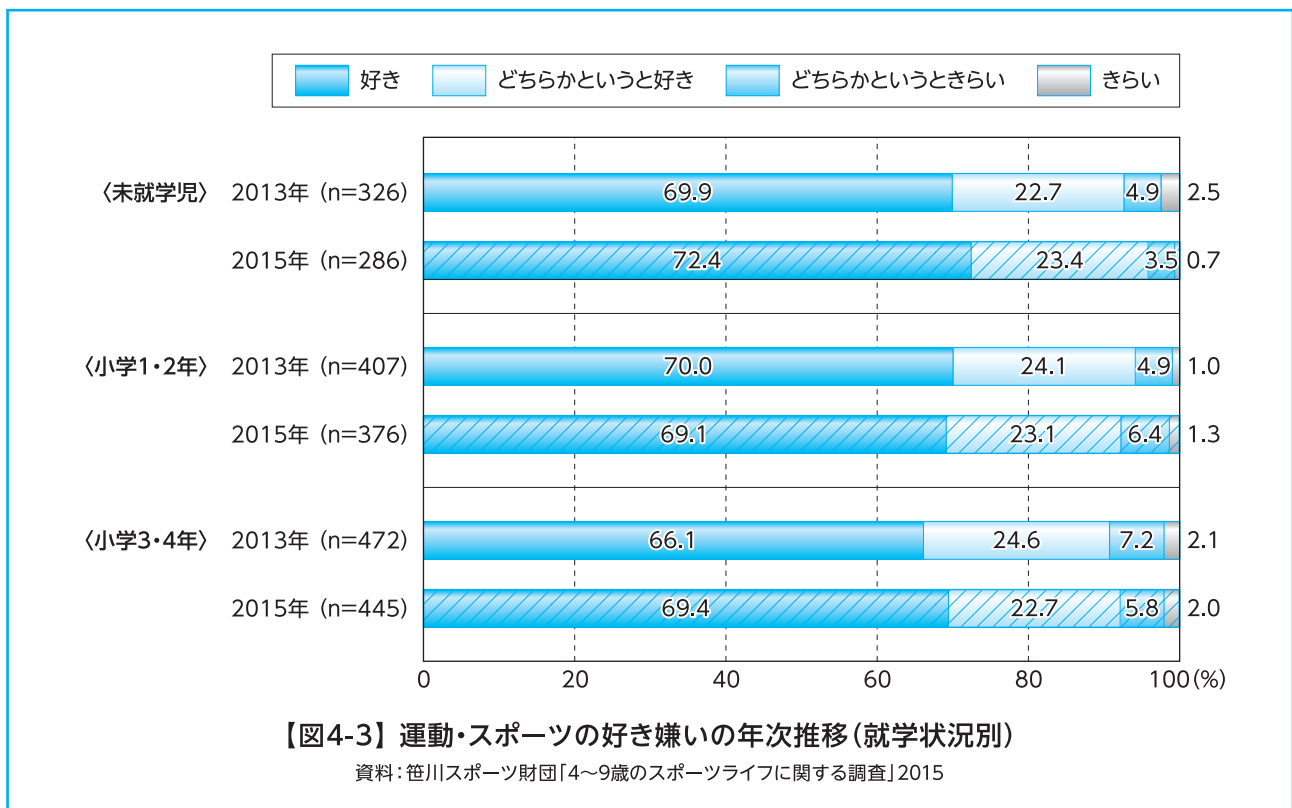
【図4-2】 運動・スポーツの好き嫌いの年次推移 (性別)

資料：笹川スポーツ財団「4～9歳のスポーツライフに関する調査」2015

就学状況別にみると「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合は、未就学児は95.8%、小学1・2年は92.2%、小学3・4年は92.1%であった(図4-3)。小学1・2年の方が、小学3・4年生よりも「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合が高いという傾向は2013年調査と同様であった。

性別・就学状況別にみると、男子では「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合は、未就学児96.7%、小学1・2年で93.1%、小学3・4年で95.4%となっている(表4-1)。小学1・2年では「どちらかというときらい」の

割合が5.0%となり、未就学児や小学3・4年よりも高くなっている。一方、女子では「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合は、未就学児で94.9%、小学1・2年で91.4%、小学3・4年で89.1%となり、学年が上がるにつれて減少し、反対に「どちらかというときらい」もしくは「きらい」と回答する割合が増えている。「どちらかというときらい」と「きらい」を合わせた割合をみると、未就学児5.1%、小学1・2年で8.6%、小学3・4年で10.9%となり、未就学児と小学3・4年では約2倍に増えている。



【表4-1】 運動・スポーツの好き嫌い(性別×就学状況別)

(%)

性	就学状況	好き	どちらかという好き	どちらかというときらい	きらい
男子	未就学児 (n=149)	72.5	24.2	2.7	0.7
	小学1・2年 (n=201)	69.2	23.9	5.0	2.0
	小学3・4年 (n=216)	75.5	19.9	2.3	2.3
女子	未就学児 (n=137)	72.3	22.6	4.4	0.7
	小学1・2年 (n=175)	69.1	22.3	8.0	0.6
	小学3・4年 (n=229)	63.8	25.3	9.2	1.7

資料：笹川スポーツ財団「4～9歳のスポーツライフに関する調査」2015

運動・スポーツ実施頻度群別にみると、週7回以上運動やスポーツ、運動あそびを行っている高頻度群では、75.0%が「好き」と回答しているのに比べて、過去1年間にまったくしなかった非実施群では39.0%にとどまる(図4-4)。「好き」「どちらかという好き」を合わせた割合は、非実施群63.4%、低頻度群90.4%、中頻度群93.5%、高頻度群95.9%となり、実施頻度が高い者ほど、運動・スポーツ、運動あそびが好きであると回答した。

2013年調査と比較すると、非実施群の「好き」と「どちらかと好き」を合わせた割合は、2013年調査では68.2%であったのに対し、2015年調査では63.4%と4.8ポイント減少している。一方で、低頻度群においては2013年調査83.9%、2015年調査90.4%と6.5ポイント増加しており、非実施群と低実施群の差が大きくなっている。

